

各種感染症に関する確認と注意事項

国立循環器病研究センターでは、実習・研修・客員研究等の受入にあたり、感染予防を目的に、下記の基準を定めています。ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

【対象者】

当センターの病院部門において実習・研修・客員研究等を行われる方。

【対象の感染症と基準】

- 研修等の活動開始までに、下記の【感染症】について、〈ワクチン接種歴〉・〈抗体価〉のいずれかの基準を満たしていることが望されます。以下の基準を満たしているかご確認ください。
- 基準を満たしていないなくても研修等は可能ですが、感染症の発生状況によっては研修等が中断される可能性があります。
- 現時点では証明書等の提出は必要ありませんが、これらの感染症が発生したり、そのリスクがあると判断した場合には、すみやかに提出をお願いします。

	麻疹	風疹	ムンプス	水痘	B型肝炎	インフルエンザ
ワクチン接種歴	2回	2回	2回	2回	最新流行期 1回以上	
	または	または	または	または		
抗体価 (いずれかの 検査法で 基準値以上)	EIA法の IgG抗体 16.0以上	EIA法の IgG抗体 8.0 以上	EIA法の IgG抗体 4.0 以上	EIA法の IgG抗体 4.0 以上	CLIA法 10mIU/m以上	
	PA法 256倍以上	HI法 32倍以上		IAHA法 4 倍以上		
	中和(NT)法 8倍以上					

【結核】

以下の事項を確認してください。

- 直近12ヶ月以内に受けた胸部X線検査において、所見に異常がない。
- 2週間以上せきが続く状態ではない（原因不明のせきがない）。

【注意事項】

- 研修中または研修後に院内で感染症の発生があった場合、健康診断結果や医療機関による確認書類の提出に協力する。
- 研修終了後、1ヶ月以内に麻疹・風疹・水痘・ムンプス、2日以内にCOVID-19・インフルエンザを発症した場合、状況を報告する。
- 発熱、咳嗽、咽頭痛、倦怠感、下痢、嘔吐等の感冒様の症状がある場合、来院せずに当センター担当者及び所属機関へ連絡する。
- その他、手指衛生・マスクの装着などの感染対策について、院内のルールに従う。

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター理事長殿

私は上記の内容について確認し、理解しました。

令和 年 月 日

所属：

氏名：_____